

私のカルテ



受診時には必ずお持ちください

お名前：

病院名：

©NARA pref

奈良県

奈良県胃がん連携パス (術後補助化学療法なし)

もくじ

＊ 私の情報	p.2
＊ 手術記録	p.3
＊ 地域連携計画書に関する説明・同意書	p.4
＊ 病院連絡先一覧	p.5
＊ メモ（施設用）	p.6
＊ はじめに	p.7
＊ この手帳の使い方について	p.8
＊ 退院後の日常生活	p.9
＊ 胃手術後の日常生活で気を付けていただきたいこと	p.10
＊ 退院後もこれだけは忘れずに！	p.15
＊ 胃手術後連携パス	p.17
＊ 医療機関の皆様へ	p.47
＊ _____病院の各部署・担当等のご案内	p.49
＊ 薬剤貼付用紙	p.51



私の情報

名前			
生年月日	西暦	年	月 日
	血液型	型 Rh ()	
住所			
電話			
緊急時 連絡先 (1)	連絡する人の名前 (本人との関係) 電話番号		
緊急時 連絡先 (2)	連絡する人の名前 (本人との関係) 電話番号		
かかった 病気	アレルギー ☐ なし ☐ あり () 心臓の病気 ☐ なし ☐ あり () 肝臓の病気 ☐ なし ☐ あり () 腎臓の病気 ☐ なし ☐ あり () 胃腸の病気 ☐ なし ☐ あり () 高血圧 ☐ なし ☐ あり () 糖尿病 ☐ なし ☐ あり () その他 ☐ なし ☐ あり ()		
かかっ て いる 医療者	かかりつけ医	_____ 医院	名前 _____ ☎ _____
	専門医師	_____ 病院	名前 _____ ☎ _____
	がん支援担当者	_____ 病院	名前 _____ ☎ _____
	訪問看護師	_____ ステーション	名前 _____ ☎ _____
	調剤薬局	_____ 薬局	名前 _____ ☎ _____
	その他	_____	

※あなたの大切な情報です。患者様ご本人がご記入ください。

手術記録

手術日	平成 年 月 日
術 式	開腹・腹腔鏡（補助）下 幽門側胃切除・胃全摘・噴門側胃切除・ 幽門保存胃切除・分節胃切除・部分切除
郭 清	D0・D1・D1+ ・D2・D3
再 建	幽門側胃切除後 B-I  B-II  Roux en Y  PPG(幽門保存)  胃全摘後 空腸間置  Roux en Y  噴門側胃切除後 空腸間置  食道残胃吻合 
進行度	T□（ ）N□HOPOCY MO （リンパ節転移個数 / ） Stage IA IB IIA IIB IIIA IIIB IIIC IV

地域連携計画書（地域連携クリティカルパス）に関する説明・同意書

平成 年 月 日 説明担当医師

■「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」について ■

奈良県では、患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を目指して「診療計画書（クリティカルパス）」を活用しています。「診療計画書（クリティカルパス）」とは、その病気の経過を予測して、一番いい診療の計画を立て、患者さんに納得していただいたうえで医師・看護師・薬剤師等が協力して診療にあたり（チーム医療）、診療の方針について、患者さんと医療者が共同で利用できる形に表わしたものです。

現在、私たちは、地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）を用いて地域の病院や診療所と、同じ医療方針で安全で質の高い医療を提供したいと考えています。「地域連携クリティカルパス」では、患者さんを中心に、医師・看護師・薬剤師など関係するすべての医療者が、検査結果や診療の方針を知ったうえで、協力体制を作ります。

患者さんには「私のカルテ」（患者さん用の連携計画書）を利用させていただきます。

■「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」の運用方法 ■

当院と、地域のかかりつけの医療機関と共同して、役割分担をしながら、診察、検査、治療を続けて参ります。具体的には、かかりつけ医が日々の診察や投薬などを担当し、当院が節目の診察や検査を行います。病状が急に変わった時や、なんらかの問題が生じた時に備え、かかりつけ医と密な連携をとって安心できる体制を作っています。

■「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」の利点 ■

「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」にもとづくことは、患者さんの主治医が複数になると考えることができます。異常の早期発見や、きめ細かな対応が可能になります。さらに地域連携診療計画書を利用することで、患者さんやご家族のお話を、もっと、お聞きできるようになるものと考えています。

■ 同意と撤回 ■

私たちは、地域連携診療計画書が患者さんの療養生活や診療の方針に合っているかどうかを吟味し、利用する方が良いと考えた場合にお勧めします。患者さんやご家族と十分ご相談しながら、運用をすすめます。途中で中止することもかまいません。以上についてご不明な点や心配があれば、いつでもご相談ください。

私は上記の説明を受けました。

私は地域連携診療を （ 希望します ・ 希望しません ）

平成 年 月 日 患者氏名

代理（続柄）

決定した連携医療機関の一覧

(病院、診療所、調剤薬局、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等)

紹介病院	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当医	
担当看護師	
担当薬剤師	
連携室担当者	
担当業務	連携パスに記載

連携病院	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当医	
担当看護師	
連携室担当者	
担当業務	連携パスに記載

訪問看護ステーション	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当者	
担当業務	

調剤薬局	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当者	
担当業務	

連携調整担当者	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎

連携医院	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当医	
担当業務	連携パスに記載

介護支援事業所等	
平日連絡先	☎
夜間・休日連絡先	☎
担当者	
担当業務	

- ・何か不安や異常を感じたら、まず電話で相談してください。
- ・もし、夜間・休日に連絡がつかない時は、申し訳ありませんが、この私のカルテを持って救急病院を受診してください。

はじめに

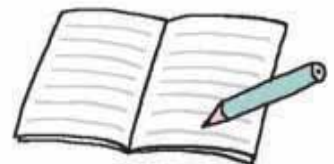
【連携パス】とは、地域のかかりつけ医と_____病院の医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と_____病院の医師が協力して、あなたの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は_____病院が行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて_____病院を受診していただきます。また、**緊急を要する場合で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、_____病院（_____ - _____ 代表）までご連絡ください。**

この「連携パス」を活用することで、_____病院と地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとって長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。

この手帳の使い方について

1. 患者さんは手帳を受け取ったら、2ページのお名前、かかりつけ医、かかりつけ薬局及び各項目の記入をお願いします。
2. _____病院の担当医の先生は、患者さんにお渡しする前に3ページの手術情報の記載をお願いします。
3. 患者さんは、おくすりを服用する1年間、服薬記録に毎日の服薬状況を記載、受診の際には必ずお持ちください。
4. かかりつけ医ならびに専門病院の先生は、診療記録に検査結果、診察所見などを記入してください。
 - a. 簡単な記載で結構です。（問題あり・なし程度）
 - b. 問題があり、書ききれない場合や、かかりつけ医／専門病院で伝達が必要な場合は、各診療記録の次のページの通信欄に日付とその内容を記載するか、診療情報提供書の発行をお願いします。



退院後の日常生活

からだの調子に自信がついたら、
仕事に復帰。
外出も旅行も、何でもできます。

胃手術後の日常生活で

気をつけていただきたいこと

胃手術後の後遺症について

以下のような種類があります。

腸閉塞（ちょうへいそく）
ダンピング症候群
貧血
骨粗鬆症（こつそしょうしょう）
逆流性食道炎
胃手術後胆石症
小胃症状

それぞれについて解説いたします。

胃手術後の後遺症 ①



～腸閉塞～

手術したあとは、ほとんどの場合、お腹の中で腸があちこちにくっつきます。その結果、腸が曲がったりせまくなることによって腸閉塞が起こります。せまくなったところに食べ物がつまると、便もガスも出なくなります。ときには腸がねじれて、腸の流れが閉ざされてしまうこともあります。

〔 症状 〕

一般的に悪心、嘔吐、排便・排ガスの停止、腹痛がみられます。時には、腸がねじれて血流が途絶え、時間とともに腸が壊死（腸管の細胞が死滅してしまうこと）して、腸に穴が開いたりして大変危険です。吐き気や嘔吐に加えて痛みが強い場合には、必ず医師の診察を受けて下さい。



〔 治療法 〕

多くの場合には、**絶食していると自然に治る**のですが、ときには癒着（ゆちゃく）を剥がしたり、ねじれを治す手術が必要なことがあります。

胃手術後の後遺症 ②



～ダンピング症候群～

ダンピング症候群とは・・・

胃を切除すると、いままで胃の中で攪拌（かくはん）されて少しずつ腸に移動していた食物が、一度に急に腸へ流れ込む状態になります。そのために起きる不愉快な症状がダンピング症候群といわれるものです。食後30分以内に起こる場合（**早期ダンピング症候群**）が多いですが、食後2～3時間で起こる場合（**後期ダンピング症候群**）もあります。

〔 症状 〕

早期ダンピング症候群：食後30分以内に発汗、めまい、脈拍が上がるなどの全身症状と悪心、腹部膨満感、下痢などの消化器症状が出現します。

後期ダンピング症候群：食後2～3時間に頭痛、汗が出る、脈拍が増える、めまい、脱力感を覚え、ときには気を失ってしまうこともあります。

〔 治療法 〕

早期ダンピング症候群：安静により数分～数十分で改善します。しかし、顕著な場合は抗セロトニン薬や粘膜麻酔薬を投与することもあります。

後期ダンピング症候群：糖質の補給が必要になります。ブドウ糖の静注や、ビスケットやあめ玉、氷砂糖をとったり、甘い飲み物を飲んで下さい。**予防するには、食後2時間あたりに何かおやつを食べることが有効です。**

胃手術後の後遺症 ③



～貧血～

胃手術後の貧血とは・・・

胃の切除により、鉄分やビタミンB₁₂が吸収されにくくなるために貧血が起こります。前者は、**鉄欠乏性貧血**、後者は**巨赤芽球性貧血**（きょせきがきゅうせいひんけつ）といいます。

● 鉄欠乏性貧血

手術後数ヶ月から出現することがあります。治療は、鉄剤の補充を行います。

● 巨赤芽球性貧血

ビタミンB₁₂は体内に蓄積されており、数年間はその蓄積したビタミンB₁₂でまかなうことができます。しかし手術後4～5年以降には蓄積がなくなり、巨赤芽球性貧血が発症することが多いです。治療法は、**ビタミンB₁₂の補充**です。定期的に血液検査をして、不足していれば補給する必要があります。

～骨粗鬆症～

骨粗鬆症とは・・・

胃の手術をすると、カルシウムの吸収が悪くなるため骨のカルシウムが減少して骨が弱くなります。ときに、骨折したりします。

定期的に骨のカルシウムの濃度（骨塩量）を測定（レントゲンなどで簡単に測定できます）し、必要であればカルシウムや、ビタミンDの投与が望ましいとされています。**普段からカルシウムの補給には十分気を付けましょう。**

胃手術後の後遺症 ④



～逆流性食道炎～

逆流性食道炎とは・・・

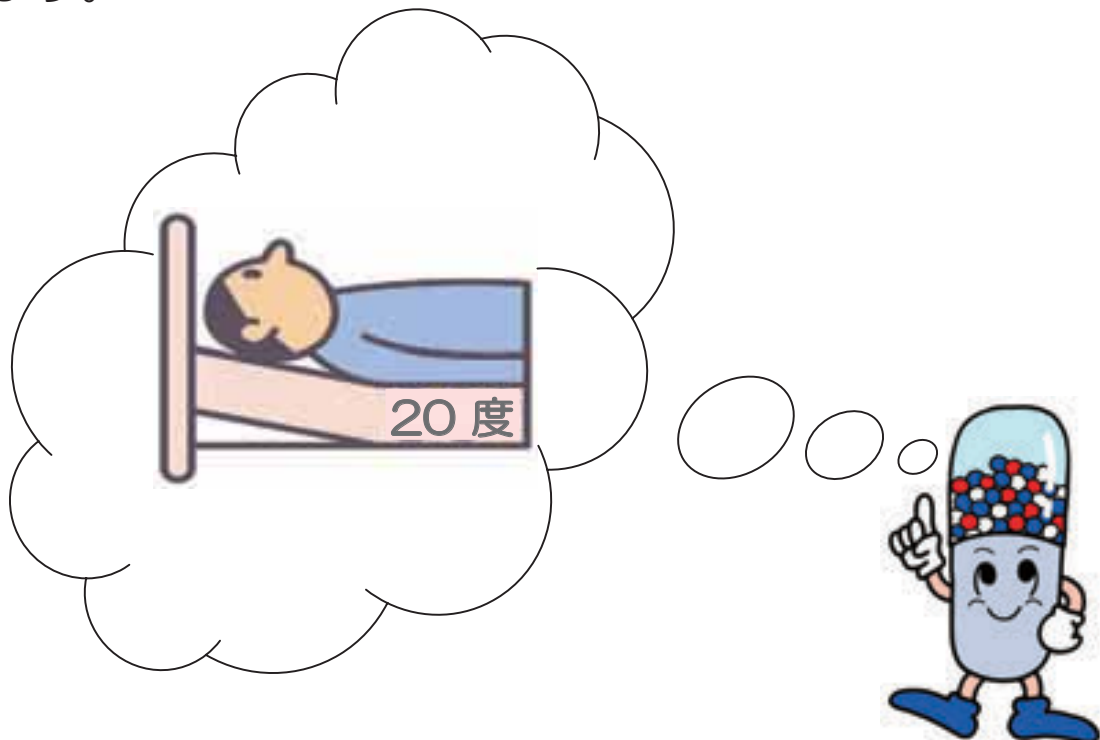
食道内へ胃の内容物が逆流することです。これは手術によって胃の入口（噴門）の逆流防止の機能が損なわれたために起こります。特に胃全摘や、噴門側胃切除の手術後に多く見られます。

〔 症状 〕

苦い水（腸液）や酸っぱい水（胃液）が口のほうへ上がってきたり、胸やけなどの症状が見られることがあります。

〔 治療法 〕

上半身を 20 度くらい高くして寝るとよいのですが、病状に応じて粘膜保護剤、制酸剤、酵素阻害薬（有害な酵素作用を止める）など、さまざまな薬が投与されることがあります。



胃手術後の後遺症 ⑤



～胃手術後胆石症～

胃手術後胆石症とは・・・

胃の手術の時には、しばしば胆嚢（たんのう）の神経が切れてしまいます。そのために胆嚢の動きが悪くなり、あとで胆嚢に炎症を起こしたり、胆嚢内に結石ができることがあります。

胆嚢とは・・・

胆嚢は肝臓でできる胆汁という黄色い液をためたり濃縮したりする、なすびのような形をした臓器です。胆嚢は十二指腸につながっており、脂肪を含んだ食物が十二指腸に流れてきた時には、ためていた胆汁を十二指腸に放出することによって、消化・吸収を助けることになります。

～小胃症状～

小胃症状とは・・・

胃を切除したために胃が小さくなり、あるいはなくなることによって起こってくるすべての症状を小胃症状といいます。

〔 症状 〕

食事が少ししか入らない、あるいは、すぐにお腹が一杯になるといった症状は最も一般的な症状です。手術を受けられたほとんどの方が経験される症状です。

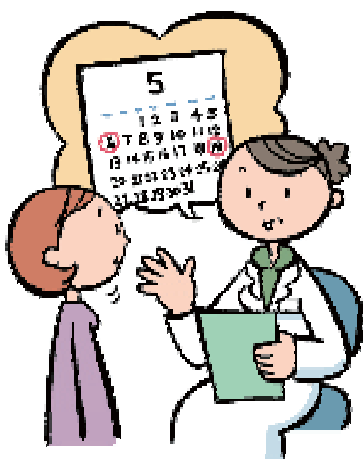
〔 治療法 〕

お腹を順応させてやることが大切になります。そのためには、食事のとり方が大切です。

退院後もこれだけは忘れずに

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後5年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって違いますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、**定期検査はくすりの効果の確認や副作用を早くみつけるために行う、胃がんを対象としたものです。他の病気をカバーするものではありません。**



定期的な診察や
検査を

☆ 毎月1回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月1回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、主治医に相談してください。

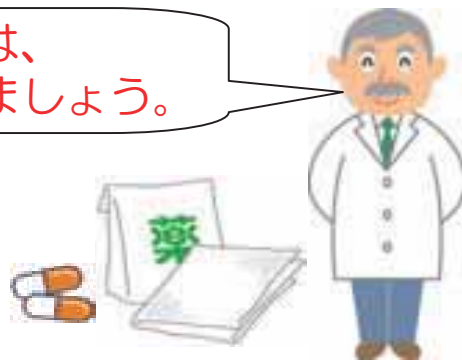


☆ 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬のなかでも化学療法剤は手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。また、薬局で購入した市販薬（胃薬等）についても医師、薬剤師にご相談ください。

副作用がある場合には、
すぐに医師に相談しましょう。

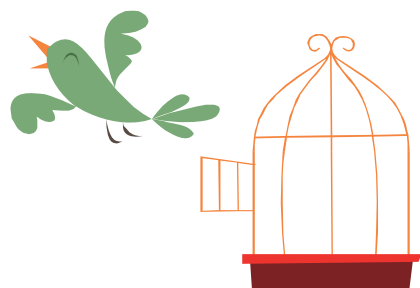


☆ 悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ、不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。

そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしてくれて良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。



胃手術後連携パス(手術後～1年)

○は必須項目△は必要な時に行います

術後		3ヶ月	
施設		診療所	
診察・検査 スケジュール	受診日	/	
	診察	○	
	血液検査(腫瘍マーカーを含む)	○	
	画像検査	△(腹部エコー・胸部XP)	
教育・指導	生活指導	○	
診察	腸閉塞症状	☐ なし ☐ あり()	
	ダンピング症候群	☐ なし ☐ あり()	
	食道逆流症状	☐ なし ☐ あり()	
	貧血症状	☐ なし ☐ あり()	
	狭窄	☐ なし ☐ あり()	
	小胃症状	☐ なし ☐ あり()	
	その他の異常	☐ なし ☐ あり()	
血液・画像 検査	貧血(RBC・Hb)	☐ なし ☐ あり()	
	炎症所見(WBC・CRP)	☐ なし ☐ あり()	
	肝機能異常 (sGOT・sGPT・Alp・T bil・LDH)	☐ なし ☐ あり()	
	腎機能異常(Cr・BUN)	☐ なし ☐ あり()	
	腫瘍マーカー異常(CEA・CA19-9)	☐ なし ☐ あり()	
	画像検査異常	☐ なし ☐ あり()	
自覚 症状	腹部 の チェック	体重	kg
		腹痛	
		腹部膨満	
		胸やけ	
		下痢	
	それ以外 の チェック	吐き気・嘔吐	
		全身倦怠感	
		めまい・冷汗	
	その他		



☐内はあなたにご記入いただきます。

気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

患者様への説明後、
チェックして下さい。



連携・連絡 (退院時まで)

術後連携の説明

☐ 患者様用パス説明

手術後後遺症・再発等
発生時の連絡先

☐ 確認の実施

6ヶ月	9ヶ月	1年
病院	診療所	病院
/	/	/
☐	☐	☐
☐	☐	☐
△CT	△(腹部エコー・胸部XP)	胃カメラ・CT
☐	☐	☐
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
kg	kg	kg



検査伝票コピー貼付欄

- ※ 医師があなたの健康状態を診断する上で重要なデータです。
受診時には検査伝票のコピーを入手し下記貼付欄に貼り付けましょう。
また、受診時には必ず医師へ提示しましょう。

ここに検査伝票コピー
を貼ってください。

検査伝票コピー貼付欄

- ※ 医師があなたの健康状態を診断する上で重要なデータです。
受診時には検査伝票のコピーを入手し下記貼付欄に貼り付けましょう。
また、受診時には必ず医師へ提示しましょう。

ここに検査伝票コピー
を貼ってください。

通信欄（1年目）

（かかりつけ医→ _____ 病院）

年月日		サイン
		

胃手術後連携パス(1～2年)

○は必須項目△は必要な時に行います

術後		1年3ヶ月	
施設		診療所	
診察・検査 スケジュール	受診日	/	
	診察	○	
	血液検査(腫瘍マーカーを含む)	○	
	画像検査	△(腹部エコー・胸部XP)	
教育・指導	生活指導	○	
診察	腸閉塞症状	☐ なし ☐ あり()	
	ダンピング症候群	☐ なし ☐ あり()	
	食道逆流症状	☐ なし ☐ あり()	
	貧血症状	☐ なし ☐ あり()	
	狭窄	☐ なし ☐ あり()	
	小胃症状	☐ なし ☐ あり()	
	その他の異常	☐ なし ☐ あり()	
血液・画像 検査	貧血 (RBC・Hb)	☐ なし ☐ あり()	
	炎症所見 (WBC・CRP)	☐ なし ☐ あり()	
	肝機能異常 (sGOT・sGPT・Alp・T bil・LDH)	☐ なし ☐ あり()	
	腎機能異常 (Cr・BUN)	☐ なし ☐ あり()	
	腫瘍マーカー異常 (CEA・CA19-9)	☐ なし ☐ あり()	
	画像検査異常	☐ なし ☐ あり()	
自覚 症状	腹部 の チェック	体重	kg
		腹痛	
		腹部膨満	
		胸やけ	
	それ以外 の チェック	下痢	
		吐き気・嘔吐	
		全身倦怠感	
		めまい・冷汗	
	その他		



☐ 内はあなたにご記入いただきます。

気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年
病院	診療所	病院
/	/	/
○	○	○
○	○	○
△CT	△(腹部エコー・胸部XP)	胃カメラ・CT
○	○	○
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()	☐ なし ☐ あり()
kg	kg	kg



検査伝票コピー貼付欄

- ※ 医師があなたの健康状態を診断する上で重要なデータです。
受診時には検査伝票のコピーを入手し下記貼付欄に貼り付けましょう。
また、受診時には必ず医師へ提示しましょう。

ここに検査伝票コピー
を貼ってください。